「大事なことだから、みんなと話したい　私のこれから」

パンフレットについて

厚生労働省では、人生の最終段階に向けた医療・ケアについて、患者・家族と医療従事者等があらかじめ繰り返し話し合う自発的なプロセスである「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」を重視し、愛称を「人生会議」と定め、普及啓発を推進しています。

　神戸市では、「人生の最終段階における意思決定支援」について専門的な見地から幅広く意見を求めることを目的として、2019年11月に「人生の最終段階における意思決定支援」に関する有識者会議を設置し、5回にわたりご議論いただきました。その中で普及啓発の方法として、「家族や医療・介護従事者等との人生の最終段階の医療・ケアの話し合い（ACP）について、市民及び医療・介護従事者の認知度は低く、普及啓発が急務である」とご意見をいただきました。

そこで、ACPの普及促進に向けた具体的方策について、実務的な見地から意見をいただくため、2022年11月に検討会を設置し、看取りに関わる医療・介護関係の実務者や、患者団体の方々から意見を聴取しながら、市民に広く普及を図るための啓発パンフレットとして「大事なことだから、みんなと話したい　私のこれから」を作成しました。今後、本市としてパンフレットを用いてACPの普及啓発を進めていく予定ですが、医療や介護の現場において、実際に患者・利用者・家族などの関係者とACPのお話をされる際には、下記の内容もご確認いただき、本パンフレットをご活用いただけますと幸いです。

記

１．パンフレットの掲載内容

このパンフレットでは、自分自身が大切にしていること、どのように生活し、どのような治療やケアを受けたいかについて、前もって信頼する人たちと話し合う手順や、自身が大切にしていることを考えるためのシートを掲載しています。

１ページ目：表紙（本パンフレットを掲載しているHP情報を記載しています）

２ページ目：「ACPとは」漫画による説明

３ページ目：ACPの話し合いの手順、実際にやってみた人の声

４ページ目：「私が大切にしていること（価値観シート）」（神戸市医師会作成）

２．パンフレットの特徴

ACPは幅広いライフステージを対象にどのような医療・ケアを受けたいのか、どのように生きたいかについて意思決定を支援するもので、本人が望む医療やケアについて、本人、家族、ケアの従事者が前もって一緒に考え、繰り返し話し合うプロセスを重視する取り組みです。本パンフレットはACPの考え方を漫画で簡単に説明しており、広く市民の方にもACPを知っていただくため、最期の迎え方についての話ではなく、今からの暮らし・生き方をどうするかということに主軸を置いています。またACPの話し合いの手順についてと、ACPを実際にしたことがある人の声を掲載しております。最終ページには神戸市医師会作成の価値観シートを掲載しており、このシートは日頃大切にしていることについて振り返っていただき、それを家族やケアマネジャー、かかりつけ医と共有するツールとしてご利用いただけます。

３．パンフレットの活用方法

医療介護関係者から患者・利用者等に向けての一方的な情報提供ではなく、医療介護関係者と患者・利用者等が話し合い、関係性を構築するためのツールとして、本パンフレットをご活用ください。

　※当該取組みは、個人の主体的な行いによって考え進めるものです。知りたくない、考えたくない人への十分な配慮が必要です。

パンフレットの１ページ目に掲載しておりますQRコードを読み込んでいただくか以下のURLからアクセスいただくと、データでも本パンフレットの内容をご確認いただけます。また、自身が望む医療やケアをより具体的に考えたい方向けに、神戸大学作成（厚生労働省委託）のパンフレットも掲載しておりますので、併せてご活用ください。

ホームページURL：<https://www.city.kobe.lg.jp/a65055/20221227.html>